

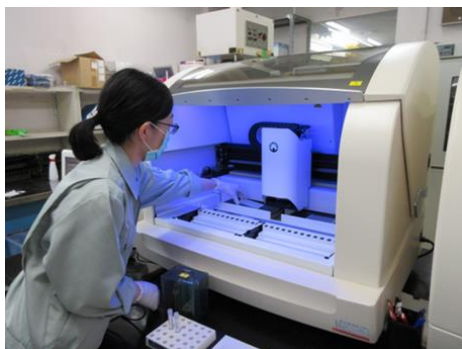
仙台市衛生研究所では、市民のみなさんに様々な情報を提供する場として「情報広場」を発行してきましたが、新型コロナウイルス感染症対応を最優先し、発行を休止していました。今回は久しぶりの発行となりますので、改めて仙台市衛生研究所の業務について、わかりやすくご紹介したいと思います。

◆仙台市衛生研究所ではどんなことをしているの？

仙台市衛生研究所は、「微生物課」と「理化学課」の2つの課に分かれており、市民の健康と安全な生活や環境を守るため、様々な業務を担っています。微生物課では、細菌やウイルスの検査のほか、所の経理や庶務、公衆衛生情報の提供などを行っています。また理化学課では、食品や水・大気など環境中に、有害なものが含まれていないか、理化学的な検査を行っています。

◆感染症の原因となるウイルスや細菌の検査を行っています

微生物課では、市内の医療機関等で採取された検体について、新型コロナウイルスの検査を行っています。令和2年度に「全自動核酸抽出増幅装置」を、令和3年度には「遺伝子解析装置(NGS)」を導入し、新型コロナウイルスの検査体制を強化しました。また、新型コロナウイルス感染症以外の感染症(結核・赤痢・腸管出血性大腸菌感染症など)についても、随時、原因菌の検査を行っています。



全自動核酸抽出増幅装置を使用した PCR 検査



危険性の高い病原体を扱うときは、安全実験室内で検査をします

◆食品の安全性を確認するための検査を行っています

保健所が収去^(注)した食品の細菌・ウイルス検査や、食中毒や食品苦情などの原因調査を行っています。また、着色料や保存料が正しく使われているか、生鮮食品に農薬や動物用医薬品がどのくらい残留しているか、などについても調べています。

(注) 収去とは、法律に基づき、食品の製造施設や販売施設から、食品等を検査のために採取すること。



弁当の検査をしている様子

◆杜の都の環境を守るために、様々な調査をしています

- ・事業所の煙突から出される排ガス中の有害な物質を調べています。
- ・空気中の有害大気汚染物質の濃度や PM2.5^(注)の成分を調べています。
- ・毎年継続して同じ地点の河川水の水質調査(モニタリング調査)を行っています。
- ・水質汚濁防止法に基づく立入検査で環境対策課が採水した事業場排水の検査をしています。
- ・下水道汚泥等の廃棄物を適正処理するための成分検査をしています。
- ・解体現場におけるアスベストの監視や一般環境中のアスベストの浮遊濃度を調べています。

(注)PM2.5 とは、大きさが 2.5 μ m 以下(1 μ m=1/1000mm)の大気中に浮遊する微小粒子状物質のことで、スギ花粉(粒径約 30 μ m)よりとても小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系や循環器系など健康への影響が心配されている。



有害大気汚染物質のモニタリング



河川水試料採取の様子

◆様々な情報提供や市民講座も行っています

- ・感染症の流行状況などの公衆衛生情報を集め、定期的なわかりやすく提供しています。
- ・「せんだい食の安全サポーター」の方への研修や「夏休み親子科学教室」を開催しています。
- ・中学生の職場体験を受け入れています。

※一部の事業については、新型コロナウイルス感染症の流行状況により、開催を中止している場合があります。



夏休み親子科学教室

◆わかりやすい情報をお届けするために・・・

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて確認されてから 3 年が経過し、私たちの生活様式は大きく変わりました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて、5 類感染症への引き下げ(令和 5 年 5 月 8 日より)が決まるなど、徐々に以前の生活を取り戻しつつありますが、いまだ完全な終息は見通せない状況です。仙台市衛生研究所では、今後も感染状況等を十分考慮しながら、市民のみなさんに様々な情報をお知らせする機会が提供できるよう、工夫していきたいと考えています。より詳しい情報は、当所のホームページに掲載しています。下記 URL より、ぜひご覧ください。

【仙台市公式ホームページ】 ホーム>くらしの情報>健康と福祉>健康・医療>衛生研究所

<http://www.city.sendai.jp/bisebutsu/kurashi/kenkotofukushi/kenkoiryo/ese/index.html>

仙台市衛生研究所

〒984-0002 仙台市若林区卸町東 2-5-10 TEL:022-236-7722 FAX:022-236-8601